



80th Anniversary

市長インタビュー

瀬戸市制施行80周年を迎えて

増岡錦也市長 × 松本たかねさん(グリーンシティケーブルテレビ「只今!せとTV」キャスター)



昭和4年 市制を祝う深川神社参道
写真提供：平田写真館

10月1日(木)、瀬戸市は市制施行80周年を迎えました。
昭和4年10月1日、愛知県下5番目の市として人口36,932人でスタートした瀬戸市も現在は13万人を超えるまでに成長しました。
今回は、増岡錦也市長から昔の瀬戸の思い出や市民一丸となった「愛・地球博」など瀬戸市の歩みについてインタビューしました。

松本 瀬戸蔵ミュージアムにあるこの駅舎、すごくなつかしいですね。

市長 そうですね。私は中学・高校と名古屋に通っていたので、とても思い出深いですね。今でも、この瀬戸蔵ミュージアムの駅舎を見るとあの頃の風景が浮かんで来ます。当時の尾張瀬戸駅は、貨物の駅舎などもあってとても大きな駅だったし、瀬戸の中心だと感じました。通勤通学の利用者で活気があった記憶がありますね。

松本 2005年の「愛・地球博」は瀬戸にとって大きな転換期だった気がします。

市長 確かに、愛・地球博は瀬戸にとって大きな影響をあたえましたね。街の整備といったハード面では、菱野トンネルの開通や尾張瀬戸駅の周辺整備、東海環状自動車道などどれも長年の思いが叶ってできたものです。

さらに尾張瀬戸駅には市民交流の拠点「パルティセと」、市民会館の跡地には産業観光の拠点「瀬戸蔵」を整備し従来からの文化拠点「文化センター」を合わせ3つの市民活動拠点を形成し、愛・地球博を迎えることができました。

愛・地球博がもたらしたものはハード整備だけではなくソフト面にも影響をあたえました。それは、開幕を迎え市民の力がひとつにまとまり、市民ひとりひとりが「愛・地球博をみんなの力で成功させよう」と力を合わせたことです。それがおもてなしの心へと発展していきました。

愛・地球博は夢をもたらず万博であったと思います。私たちは、この財産をこれからも瀬戸に活かしていきたいと思っています。

松本 市制施行70周年に続き、80周年という節目も市長として迎えられると思いますが、いかがですか。

市長 まずこの年を迎えるにあたり、市民とともに祝い、喜びを分かち合える企画を話し合ってきました。その1つに「市民によるお祝いプロジェクト」があります。これは市民が企画したお祝い事業を募集したのですが、多くの市民の皆さんが手を挙げられ、いろいろなお祝いイベントを開催していただいております。まさに愛・地球博で培ったあのおもてなしの心の大きな成果だと思っています。



松本 ほかに市制80周年を祝うイベントが予定されていますか。

市長 はい、これからもイベントなどがたくさん予定されています。10月の記念事業としては「せと・やきもの世界大交流2009」と題し、瀬戸の友好・姉妹都市4都市の市長さんを瀬戸へお招きし、各国の紹介やさらなる友好を深めたいと思います。このほかにたくさんのイベントを毎週のように進めていきますので、みなさんぜひ参加してください。

松本 最後に、市民のみなさんへメッセージをお願いします。

市長 今年瀬戸市は、市制施行80周年という記念すべき年を迎えました。みなさんご存じのとおり、瀬戸はやきものまちです。1300年の歴史を誇っていますが、その道のりは決して平坦なものではありませんでした。でも先人たちは叡智を結集し、幾多の苦難を乗り越え今日の発展に至っています。

わたしたちも、先人が瀬戸を築いた不屈の精神を持って、みんなで力合わせて瀬戸の新しい歴史を作り上げていきたいと思っています。

市民のみなさんこれからもよろしく願いいたします。



このインタビューは、グリーンシティケーブルテレビ「只今!せとTV」で放送します。ぜひご覧ください。
放送期間10月1日(木)~14日(水) 「只今!せとTV」の放送時間など詳しくは21ページ行政情報番組をご覧ください。

瀬戸市

80th memories

80年の道のり

瀬戸市は市制施行してから80年の歳月を歩んできました。そこで、先人たちが築き上げてきた瀬戸市80年の道のりを、ここで振り返りましょう。

昭和4年 10月1日 市制施行



市制施行当時の市役所庁舎

昭和初期 当時のまちなみ



にぎわいの中心、深川神社参道の風景

昭和5年 12月20日 省営バス営業開始



省営バス記念橋駅

昭和7年 9月16日 第1回せともの祭



せともの祭の上空からの風景

昭和8年 12月16日 上水道整備



上水道しゅん工式

昭和11年 11月2日 陶生病院開院

戦時中 戦時中に作られたやきもの代用品



陶製のストーブ

戦後 再びよみがえる窯の火



西郷町より西を望む風景

昭和26年～34年 昭和26年水野村、昭和30年幡山村、昭和34年品野町と合併し現在の市域へ

昭和29年 映画「青銅の基督(キリスト)」に市民参加



エキストラとして出演する市民

昭和32年 11月1日 市役所庁舎、蔵所町から現在の位置へ



新開地交差点の信号機と東寺山町の歩道橋

昭和38年～39年 末広町商店街・銀座通り商店街にアーケード完成



昭和43年 45年 昭和43年水野団地の分譲開始 昭和45年菱野団地の入居受付開始

昭和47年 9月26日 人口10万人突破

昭和48年～ 企業団地操業

昭和52年 10月10日 第1回せと市民祭



会場のようす

昭和54年 10月1日 市制施行50周年

昭和57年 10月4日 瀬戸の文化拠点(文化センター)完成

昭和63年 1月31日 マイレール「愛知環状鉄道」開業

平成6年 10月30日～ わかしゃち国体開催

平成8年 10月11日～ 進む友好姉妹都市提携



フランスリモージュ市と提携を交わす

平成8年10月11日 中国・景德鎮市
平成15年11月18日 フランス・リモージュ市
平成16年4月21日 チュニジア・ナブール市
平成18年4月20日 韓国・利川市

平成9年 6月12日 国際博覧会誘致決定



誘致決定に喜ぶ市民

平成11年 5月28日～ 拠点施設の整備



パルティセとオ・ブンのようす

平成11年5月28日 新世紀工芸館オープン
平成12年4月15日 マルチメディア伝承工芸館オープン
平成15年 デジタルリサーチパークセンターとデジタルタワー完成
平成17年2月19日 パルティセとオープン
平成17年3月19日 瀬戸蔵オープン

平成17年 3月25日～ 愛・地球博開幕

平成21年 3月20日 愛・パークオープン



「天水皿」を中心に整備された「愛・パーク」

「瀬戸市80年の道のり」写真提供：フォトスタジオ伊里

もっと瀬戸の歴史をご覧になりたい方へ

瀬戸の歴史を紹介するホームページ「せと・まるっと歴史探訪」を市ホームページからご覧いただけます。ぜひご覧ください。

<http://www.seto-marutto.info/history/>